

シェイクスピアの翻訳を考える

シェイクスピア没後400年記念：講演会と対談

2016年 12月16日 金 15:30-18:00 早稲田大学

(1) ダニエル・ガリモア氏 講演： 15:30～16:20

「現在の日本語シェイクスピア翻訳における四字熟語の世界」

■ Daniel Gallimore(ダニエル・ガリモア)

関西学院大学教授、シェイクスピア学者。オックスフォード大学東洋学博士課程修了、博士号取得。坪内逍遙を中心とする日本におけるシェイクスピアの翻訳の研究を専門とする。著書に、*SOUNDING LIKE SHAKESPEARE—A Study of Prosody in Four Japanese Translations of A Midsummer Night's Dream*(関西学院大学出版会、2012年)などがある。日本シェイクスピア協会会員、International Association for Translation and Interpreting Studies (IATIS)会員。



(2) 松岡和子氏 講演： 16:30～17:20

「シェイクスピアを日本語にするということ」

■ 松岡 和子(まつおか かずこ)

翻訳家、演劇評論家。東京大学大学院修士過程修了。1993年以来シェイクスピアの全戯曲の翻訳に取り組み、本年亡くなった演出家・蜷川幸雄氏が芸術監督を務める彩の国さいたま芸術劇場の彩の国シェイクスピア・シリーズで翻訳を担当し、企画委員も務める。主な著書は『すべての季節のシェイクスピア』(筑摩書房)、『快読シェイクスピア』(ちくま文庫)等。翻訳も多数。シェイクスピアの訳書は、ちくま文庫からシェイクスピア全集として次々と出版されている。日本シェイクスピア協会会員、国際演劇評論家協会会員。



(3) 松岡氏とガリモア氏による対談： 17:25～18:00

司会： 冬木ひろみ(早稲田大学文学部教授)

主催: SGU 早稲田大学 国際日本学拠点

お問い合わせ: 冬木ひろみ (fuyuki@waseda.jp)

<フェス早稲田シェイクスピア・関連イベント>

場所: 早稲田大学戸山キャンパス
36号館681教室

アクセス: 地下鉄東京メトロ東西線 早稲田駅から徒歩3分
JR山手線 高田馬場駅から徒歩20分
西武新宿線 高田馬場駅から徒歩20分

